

素敵に輝け！

関わり合って、学びへと

4月12日（月）の昼休み、突然校長室の戸が開いて一人の男の子が入ってきました。そしてすかさず、「失礼します。係で新聞を作るので話を聞かせてください」と話しかけられました。その子は3年生のAさん。ちょっと呆気にとられましたが、答えることにしました。

質問は「好きな食べ物は何ですか」「好きな色は何色ですか」「誕生日はいつですか」「今いくつですか」の4つ。これで終わりだと言うので、「もっと聞かなくていい？ どんなことが好きですかとか」と逆にこちらから質問を促しました。すると「じゃ、どんなことが好きですか？」と聞かれたので、「バスケットボールの試合を見ることです」と答えると、「お父さん、バスケットボールを教えとる」とのこと。「えっ、どこで」「〇〇で」「あっ、そう」。しばらくその話題で話が続きしました。

一通りの取材が終わって、「失礼しました」と礼儀正しく挨拶をして出て行きました。しばらくして、また同じように突然入ってきて「失礼します」と挨拶。今度は写真を撮らせてほしいとのことでした。しかし、担任の先生に教わってきたはずの操作がどうも上手くいきません。結局断念して出て行くことになりました。その際、「出入りの仕方を教えてあげるね」と、ノックをしてから、「どうぞ」と言われたら戸を開けて、「失礼します」と言って入ることを伝えました。

2日後の14日（水）の休み時間、ノックの音がしました。「どうぞ」と言った後に戸が開き、そこにAさんがいました。教えてもらったことをしっかり守ったのでした。そして、今度は写真もちゃんと撮れました。きっと担任の先生にまた教わったのでしょう。

15日（木）の朝、交通立哨に出ているのがAさんのお父さんだと知り、「バスケットを教えておられるのですね」と話をすることができました。Aさんのおかげです。

人と人とが関わると会話が生まれます。会話をすると互いのことが分かり、距離が縮まります。また、関わることで気付きを伝えることもできます。「関わり合うってよいことだな」と、この出来事を通して改めて思いました。

子供たちにとっては、学校でのいろいろな場面が学びの機会でもあります。突然入ってきたAさんでしたが、教えてもらった後はノックをして返事を聞いてから入ってきました。前回撮れなかった写真を撮ることもできました。そこには学びがあったのですね。

今後、子供たちと大いに関わって、子供のことをよく知り、いろいろなことを伝えていけたらよいなと思っています。

学校行事以外のちょっとした出来事を、校長だよりで伝えていきたいと思っています。

「素敵に輝け！」は、初任校での学級通信で使っていた見出しです。また新鮮な気持ちで取り組みたいとの思いで復活させました。